

## 第5章 今後に向けて

## 1 結果から見えた傾向

本調査の結果と東京医科歯科大学による詳細な分析結果から見えてきた傾向を、区として以下の通りまとめました。

### (1) 食事を野菜から食べる習慣が、肥満を予防できる可能性がある

食事を野菜から食べるというちょっとした意識づけによって、肥満を予防できる可能性が明らかとなりました（P 58）。平成27年度の調査から、肥満傾向の子どもの割合は区立保育園で特に高いことがわかっており、この対策として、区では野菜から食べる習慣を身につける取組みを、区立保育園で強く推し進めてきました。取組みによって野菜から食べる習慣が浸透した結果、食事を野菜から食べている場合の肥満傾向は、私立保育園・幼稚園に比べて、区立保育園で特に低くなりました。

今後、保育園や小学校とのさらなる連携により、子どもの頃からの習慣づけを推進していきます。

### (2) 地域行事への参加がもたらす好影響は、小学校1年生でも同様であった

地域活動（近所のお祭り・子ども会・児童館等の教室など）に参加していることは、逆境を乗り越える力が高いことや良い運動習慣があることと関連していました（P 64）。平成28年度の小学校2・4・6年生および中学2年生を対象とした調査においても、子どもが地域活動に参加することで、逆境を乗り越える力を培える可能性や、登校しぶり、朝食欠食、5本以上のむし歯などへの影響が緩和される傾向にあることが明らかとなっていました。今回の調査により、小学校1年生でも地域活動への参加による健康・生活習慣への良い影響が示されたことから、改めて地域とのつながりの重要性が確認できました。

地域とのつながりを持つことは、平成27年度で明らかとなった「困った時に保護者に相談相手がいると、子どもの健康に及ぼす生活困難の影響を軽減できる」という点から、子どもだけでなく保護者にとっても重要だと考えられます。引き続き、地域とつながる機会を増やす取組みの推進を通じて、子どもの健康を守り、好ましい生活習慣の定着を目指していきます。

### (3) 「あだちっ子歯科健診」の実施により、むし歯を持つ子どもの割合が減少した可能性がある

今回の調査では、平成27年度調査結果と比較することにより、この2年間に行ってきた政策の評価を行うこともできました（P 69）。平成29年度では5本以上のむし歯を持つ子どもの割合が平成27年度より減少し、特にむし歯を持つ子が多い区立保育園でこの傾向は顕著でした。このことは、区内在住の3・4・5歳のすべての子どもを対象に歯科健診および指導を実施する「あだちっ子歯科健診」を平成27年度より実施してきた成果である可能性があります。

#### (4) 全体としては、平成27年度と同様の傾向であり、継続的な取組み実施および政策評価が必要である

上記のような結果が得られた一方で、子どもの健康や生活習慣の現状は、全体としては平成27年度とほぼ同様の傾向でした。政策を評価するには期間が短いため、引き続き取組みを実施するとともに、経過を注視していきます。

以上が今回の調査結果から明らかになった内容です。今後、調査対象者の学年が小4、小6、中2と上がるにつれて、どのように変化していくかを追跡し、その変化を検証するとともに、今年度の調査結果と比較しながら分析・評価をしていきます。また、他の自治体で行われる調査にも注視し、比較・検証していきます。

## 2 今後の展望

### 本調査から得られた結果を区の各所管で共有し、「未来へつなぐあだちプロジェクト」に反映していきます

これまでの3回の調査を終えて、多くのことが明らかとなりました。以下、主要な項目を記載します。

#### <第1回調査>

- 子どもが運動・読書習慣を身につけることで、生活困難による子どもの健康への影響を軽減できる
- 困った時に保護者に相談相手がいると、生活困難による子どもの健康への影響を軽減できる

#### <第2回調査>

- 子どもが地域とのつながりを持つことで、生活困難による子どもの健康への影響を緩和できる

#### <第3回調査>

- 食事を野菜から食べるというちょっとした意識づけの啓発による肥満予防効果、および早期の歯科健診や指導によるむし歯予防の成果が見え始めた
- 小学校1年生においても、地域とのつながりと良い健康・生活習慣との間に関連があることが明らかになった

ここに挙げた以外にも、専門家の先生方から多くの考察をいただきました。引き続き、区では、本調査から得られた結果を各所管で共有し、子どもを取り巻く環境や生活習慣を整えることによって生活困難の影響の軽減を図っていきます。そして、将来の夢や希望を叶える大切な土台となる、子どものこころとからだの健康を守り育てる施策の充実に努めていきます。

### 3 謝辞

この調査は以下の事業より助成いただきました。心より御礼申し上げます。

- 平成29年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）（H27-循環器等一般-002）
- JSPS 科研費 JP16H03276 JP16K21669

# 子どもの健康・生活実態調査

## 平成 29 年度 報告書

平成 30 年 4 月発行

発行 足立区・足立区教育委員会

編集 足立区 衛生部 こころとからだの健康づくり課

東京都足立区中央本町 1-17-1

電話 03-3880-5433

東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科  
国際健康推進医学分野

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター  
研究所 社会医学研究部